

平成30年度第2次あけお子ども読書プランの実施状況について

第1章 子どもが読書に親しむための推進体制の整備

	取組	目標	施策	主体	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
					実施状況	実施状況	実施状況	今後の課題・方向性	
1	家庭・地域・学校の連携のコーディネート	家庭・地域・学校と図書館の連携がスムーズに進むように、コーディネートを行う	① 子どもの本や読書活動についての調査・研究・公表を行う	図書館（子どもの読書活動支援センター）	今年度末までの家庭・地域・学校の子どもの読書プラン進捗状況調査回答シートを2月中に作成し、公表した。	引き続き、今年度末までの家庭・地域・学校の子どもの読書プラン進捗状況調査回答シートを作成し、公表した。	今年度末までの家庭・地域・学校の子どもの読書プラン進捗状況をまとめた。	家庭・地域・学校の読書プラン進捗状況をとりまとめ、図書館HPで公開を着実に進行。	
			② 学校と図書館のパイプ役を努める		「読書パスポート」の配布、「あっぴいぶつくるセット本」の巡回、団体貸出等の連携事業に加え、司書教諭やアッピースマイル学校図書館支援員向けの学校図書館運営に係わる講座を開いた。 ・司書教諭・学校図書館支援員研修「子どもたちを本好きにしよう 本と出会うきっかけはブックトーク」を開催 参加者21人 ・学校図書館支援員研修「学校図書館のつくり方」子どもたちの使いやすい図書館」講座を開催 参加者 45人 ・学校図書館支援員研修会に参加し、助言・連絡をする。6回	引き続き、「読書パスポート」の配布、「あっぴいぶつくるセット本」の巡回、団体貸出等の連携事業に加え、司書教諭やアッピースマイル学校図書館支援員向けの学校図書館運営に係わる講座を2回実施 ・「赤木かん子さんの学校図書館の作り方～魅力ある自然科学の棚つくり～」を開催 司書教諭・学校図書館支援員参加者 41人 ・「本の修理の基本を学ぼう」講座を開催 参加者 18人	「読書パスポート」の配布、「あっぴいぶつくるセット本」の巡回、団体貸出等の連携事業を実施した。 ・アッピースマイル学校図書館支援員向けの学校図書館運営に係わる研修を8回実施した。 ・支援センター相談員が、各学校図書室を回り、配架や選書の相談を受けた。 小学校22校 中学校11校	学校図書の充実の為、アッピースマイル学校図書館支援員への研修や助言を密にし、学校との連携を図る。	
			③ 家庭・地域・学校の本や読書活動に関するニーズを収集し、図書館の児童サービスの向上につなげる		講座・イベント終了時に参加者にアンケート調査を行い、今後のサービスにつなげるよう検討した。	講座・イベント終了時に参加者にアンケート調査を行い、今後のサービスにつなげるよう検討した。	講座・イベント終了時に参加者にアンケート調査を行い、実施してもらいたい講座などの要望を把握し、今後のサービスにつなげる。	アンケート調査を実施し、今後の児童サービスの向上につなげる。	
			④ 子どもの本に関するボランティアの紹介と、それを必要とする団体などの橋渡しをする		市内書店組合、学校朝読書、公民館などの求めに応じ、支援センター所属のAYYレンジャー(読み聞かせボランティア)の情報などの情報を紹介し、活動につなげた。	学校朝読書、公民館などの求めに応じ、AYYレンジャー(読み聞かせボランティア)の情報などを紹介し、活動につなげた。	学校朝読書、公民館などの求めに応じ、情報を提供した。	市内各団体の求めに応じ、読み聞かせボランティアの情報を提供する。	
		2	<家庭への支援> 子どもや、子どもを取り巻く大人たちに読書の楽しさを普及する		① 本に関する情報を収集・提供する	平成29年度から、保育所・幼稚園の中で絵本を巡回貸出する「えほんあっぴいぶつくる」事業を開始する。この絵本のリストを公開する準備を進めた。	・保育所・幼稚園の中で絵本を巡回貸出する「えほんあっぴいぶつくる」事業を開始し、またこの絵本のリストを公開した。 ・学校読み聞かせボランティアの受け入れについてのアンケート調査を行った。	・保育所・幼稚園の中で絵本を巡回貸出する「えほんあっぴいぶつくる」事業を開始し、この絵本のリストを公開した。 ・「おやこでえほんサロン」や読書相談を受け、子供の年齢にあった本の情報を提供をした。	子どもの読書活動支援センターが推奨する本のリスト作成を行い、家庭・学校・地域に向けて提供する。
					② 子どもや青少年向け読書イベントを開催する	<支援センター子ども向けイベント> ※学校で行った分、おはなし会を除く 年間 延6回、参加者 延大人93人、子供272人	<支援センター子ども向けイベント> ※おはなし会を除く 年間 4回、参加者 大人56人、子供75人	<支援センター子ども向けイベント> ※学校で行った分、おはなし会を除く 年間 3回 参加者 大人34人、子供58人	・子供が本に興味をもってもらえるようなイベントを開催する。
					③ 保護者向け読書講演会や講座を開催する	<支援センター保護者向け事業> 年間 延3回、参加者 延93人	<支援センター保護者向け事業> 年間 2回、参加者 大人119人、子供8人	<支援センター保護者向け事業> 年間 4回 参加者 大人69人	・子供の読書習慣は、保護者役割が大きいため、保護者が読書に対する関心を高める講座を開催する。
		3	<地域への支援> 読み聞かせボランティア、家庭児童文庫や子どもの読書活動推進団体を支援し、これらと連携して地域とともに「読み聞かせのまちあけお」を実現させる		① 読み聞かせボランティア養成や資質向上のための講座を開催する	<支援センターボランティア向け事業> 年間 延2回、参加者 延70人 <学校応援団への支援センター職員の講師派遣> 年間 2回、参加者 47人 <読み聞かせボランティア団体への支援センター職員の講師派遣> 年間 11回、参加者 121人	<支援センターボランティア向け事業> 年間 2回、参加者 42人 <学校応援団への支援センター職員の講師派遣> 年間 1回、参加者 7人 <読み聞かせボランティア団体・中学生ボランティアへの支援センター職員の講師派遣> 年間11回、参加者 78人 <他館との連携での支援センター職員の講師派遣> 年間 1回、参加者 40人	<支援センターボランティア向け事業> 年間 4回 参加者 69人 <学校応援団への支援センター職員の講師派遣> 年間 2回 参加者 24人	・引き続き、読み聞かせボランティアに対し講座を実施し、ボランティアの育成、資質向上に努める。
					② 読み聞かせボランティアの活動場所を確保する	・市内書店組合に読み聞かせボランティア情報を提供し、書店での活動につなげた。 ・ボランティア主催の研修の場所として、富士見小学校開放教室などを開放した 年間 28回 ・分館・公民館図書室での読み聞かせ 261回	ボランティア主催の研修の場所として、富士見小学校開放教室などを開放した。 年間22回	・ボランティア主催の研修の場所として、富士見小学校開放教室などを開放した。 年間 23回	・読み聞かせボランティアが、さらに活動できるよう研修会場の確保に向け検討する。
					③ 読み聞かせボランティアへの本に関するアドバイスを行う	<支援センターのアドバイス事業> 講座以外で子どもの本に関する相談を受けた。 年間 1回 ・「広報あけお」平成29年4月号に、相談業務のPR記事を掲載する準備を行った。	<支援センターのアドバイス事業> 講座以外で子どもの本に関する相談を受けた。 年間12回 ・「広報あけお」平成29年4月号に、相談業務のPR記事を掲載した。	<支援センターのアドバイス事業> 講座以外で子どもの本に関する相談を受け付けた。 年間 12回 ・「広報あけお」平成30年5月号に、相談業務のPR記事を掲載した。	・読み聞かせの相談や読書相談が支援センターで、いつでもできることをPRする。
					④ 家庭児童文庫の支援を行う	平成28年度子どもの読書活動推進事業補助金を以下の3家庭児童文庫に交付 ・文庫活動 シラコバト団地自治会 ・おひさま文庫 ・富士見団地自治会児童図書	平成29年度子どもの読書活動推進事業補助金を以下の3家庭児童文庫に交付 ・文庫活動 シラコバト団地自治会 ・おひさま文庫 ・富士見団地自治会児童図書	平成30年度子どもの読書活動推進事業補助金を以下の3家庭児童文庫に交付した。 ・文庫活動 シラコバト団地自治会 ・おひさま文庫 ・富士見団地自治会児童図書	・子どもの読書活動推進事業補助金の交付を継続する。
					⑤ 子どもの読書活動推進団体への支援を行う	平成28年度子どもの読書活動推進事業補助金を以下の2団体に交付 ・児童文学朗読会実行委員会 ・サイエンスの杜ワンダーワンダー	平成29年度子どもの読書活動推進事業補助金を以下の3団体に交付 ・サイエンスの杜ワンダーワンダー ・児童文学朗読会実行委員会 ・あけお児童えほん研究会	平成30年度子どもの読書活動推進事業補助金を以下の2団体に交付した。 ・サイエンスの杜ワンダーワンダー ・児童文学朗読会実行委員会	・子どもの読書活動推進事業補助金の交付を継続するとともに、制度の周知につとめる。

	取組	目標	施策	主体	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
					実施状況	実施状況	実施状況	今後の課題・方向性
1	子どもの読書活動支援センターの役割	家庭・地域・学校の連携のコーディネート	<p>① <学校への支援> 学校や学校図書館の充実を図り、朝読書や読書タイム、学校の授業で読み聞かせや本の紹介を行う</p> <p>② アップイスマイル学校図書館支援員研修会への講師派遣や助言、講師の紹介</p> <p>③ <学校への支援> 学校や学校図書館の充実を図り、朝読書や読書タイム、学校の授業で読み聞かせや本の紹介を行う</p> <p>④ 学校に出向いての読書イベントを開催する</p>	図書館（子どもの読書活動支援センター）	<p>平成28年度あつぴいぶつくるセット本の活用 幼稚園 8回 120冊 小学校 112回 10,440冊 中学校 33回 990冊 合計 153回 11,550冊</p>	<p>平成29年度あつぴいぶつくるセット本の活用 幼稚園・保育所 80回 2,400冊 平成29年度あつぴいぶつくるセット本の活用 小学校 92回 8,280冊 中学校 44回 1,320冊 合計 136回 9,600冊</p>	<p>平成30年度あつぴいぶつくるセット本の活用 幼稚園・保育所 80回 2,400冊 平成30年度あつぴいぶつくるセット本の活用 小学校 84回 7,560冊 中学校 44回 1,320冊 合計 128回 8,880冊</p>	<p>・小・中学校は、学校公開などで月曜日が振替休日になることが多いため、学校行事を早期に把握し、実施日の工夫を行うなど、円滑な運営を図る。</p>
					<p>・司書教諭・学校図書館支援員研修「子どもたちを本好きにしよう 本と出会うきっかけはブックトーク」を開催 参加者 21人 ・学校図書館支援員研修「学校図書館のつくり方」子どもたちの使いやすい図書館」講座を開催 参加者 45人 ・学校図書館支援員研修会に参加し、助言・連絡を行った。6回</p>	<p>・司書教諭・学校図書館支援員研修「赤木かん子さんの学校図書館の作り方」魅力ある自然科学の棚づくり」を開催 司書教諭・学校図書館支援員参加者 41人 ・本の修理の基本を学ぼう講座を開催 参加者 18人 ・学校図書館支援員研修会に参加し、助言・連絡を行った。8回</p>	<p>・アップイスマイル学校図書館支援員向けの学校図書館運営に係る研修を8回実施した。 ・各学校図書室を回り、配架や選書の相談を受けた。小学校22校 中学校 11校</p>	<p>・アップイスマイル学校図書館支援員が、実践できる講座、研修を目指し、アップイスマイル学校図書館支援員のレベルアップを図る。 学校図書館事務手引きの共通認識 学校図書館システムの活用方法など</p>
					<p>・学校主催の読み聞かせボランティア初心者講座への講師派遣 2回 中央小学校 1回 参加者 5人 上尾小学校 1回 参加者40人 先生方の校内研修「読み聞かせの仕方」 芝川小学校 1回 参加者 23人 「道徳資料の読み方」 富士見小学校 1回 参加者 31人</p>	<p>学校主催の読み聞かせボランティア初心者講座への講師派遣を行った。 中央小学校 1回 参加者 7人</p>	<p>・学校主催の読み聞かせボランティア初心者講座へ講師を派遣した。 2回 中央小学校 1回 参加者 6人 東小学校 1回 参加者 18人</p>	<p>・学校での読み聞かせを定着に不可欠である地元の読み聞かせの学校応援団の協力、育成のため、小・中学校長宛てに学校応援団の活動の育成の支援についてのお知らせを送付する。</p>
					<p>読書イベント 2回実施 ・「子ども読書の日関連イベント 絵本シアター」芝川小学校 全校児童581人 教職員 25人 合計 606人 ・「教育長のおもしろサイエンスショー」 富士見小学校 6年生 137人 教職員 5人 合計 142人</p>	<p>読書イベント 2回実施 ・「全校おはなし会『とんでもない!』」 芝川小学校 全校児童 560人 教職員 3人 合計 563人 ・「富士見小学校5年生 ブックトーク」 富士見小学校 5年生 117人</p>	<p>・読書イベントを実施した。 1回 ・「全校おはなし会」を実施した。 芝川小学校 全校児童 560人</p>	<p>・普段図書館にこない子供たちや、読書習慣のない子供たちが本に興味を持ってもらえるよう学校で読書イベントを実施する。</p>
2	読書活動の推進(子どもの読書活動に関わる関係各課)	(仮称)子どもの読書活動推進連絡会の開催	図書館、読書活動推進に関わる関係各課で、(仮称)子どもの読書活動推進連絡会を開催する	① 連絡会を開催する ・連絡会の設置 ・子どもの読書活動推進計画の進捗状況の把握	関係各課の、子どもの読書プラン進捗状況を把握した。	関係各課の、子どもの読書プラン進捗状況を把握を行った。	・関係各課の子どもの読書プラン進捗状況の把握を行った。	・庁内の連絡会の実施に向けて、調整を継続する。 ・引き続き、庁内の関係各課の子どもの読書プラン進捗状況の把握を行う。
3	図書館・学校・学校図書館の連携	(仮称)図書館・学校・学校図書館連絡会の開催	図書館・学校・学校図書館連絡会を開催する	① 連絡会を開催する ・連絡会の設置 ・司書教諭と図書館司書との情報交換 ・学校図書館と図書館との連携	・連絡会は未設置 ・司書教諭や学校図書館支援員と研修を通じ連携を図った。	・連絡会は未設置 ・司書教諭や学校図書館支援員と研修を通じ連携を図った。	・連絡会は未設置 ・学校図書館支援員に対する研修を行うほか、積極的に学校に出向き相談を行うなど連携を図った。	・図書館・学校・学校図書館連絡会の実施に向けて、調整を継続する。 ・引き続き、司書教諭や学校支援員と研修等を通じ連携を図る。
4	読み聞かせボランティア相互の情報交換	(仮称)読み聞かせボランティア連絡会の開催	読み聞かせボランティア連絡会を開催する	① 連絡会を開催する ・連絡会の設置 ・読み聞かせボランティア相互の交流や情報交換 ・スキルアップ	第1回 読み聞かせボランティア会議を開催した。 参加者 16人	第1回 読み聞かせボランティア会議を開催した。 参加者 10人	・読み聞かせボランティア会議を開催した。 参加者 6人	・連絡会の開催を継続し、図書館とボランティア、ボランティア相互の情報交換をする。
				② 読み聞かせボランティア養成や資質向上のための講座を開催する	<p><支援センターボランティア向け事業> 年間 2回、参加者 延70人 <学校応援団への支援センター職員の講師派遣> 年間 2回、参加者 47人 <読み聞かせボランティア団体への支援センター職員の講師派遣> 年間11回、参加者121人</p>	<p><支援センターボランティア向け事業> 年間 2回、参加者 42人 <学校応援団への支援センター職員の講師派遣> 年間 1回、参加者 7人 <読み聞かせボランティア団体・中学生ボランティアへの支援センター職員の講師派遣> 年間11回、参加者 78人 <他館との連携での支援センター職員の講師派遣> 年間 1回、参加者 40人</p>	<p><支援センターボランティア向け事業> 年間 4回 参加者 69人 <学校応援団への支援センター職員の講師派遣> 年間 2回 参加者 24人</p>	・読み聞かせボランティアのニーズの把握に努め、効果的な講座等を実施する。
				③ 読み聞かせボランティアの活動場所を確保する	<p>・市内書店組合に読み聞かせボランティア情報を提供し、書店での活動につなげた。 ・ボランティア主催の研修の場所として、富士見小学校開放教室などを開放した。 年間 28回 ・分館・公民館図書室での読み聞かせ 261回</p>	<p>ボランティア主催の研修の場所として、富士見小学校開放教室などを開放した。 年間22回</p>	<p>・ボランティア主催の研修の場所として、富士見小学校開放教室などを開放した。 年間 23回</p>	・読み聞かせボランティアが、さらに活動できるよう活動場所の確保に向け検討する。

第2章 読書に親しむ機会の提供と環境の整備・充実

	取組	目標	施策	主体	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
					実施状況	実施状況	実施状況	今後の課題・方向性
1 図書館	1 図書館の役割	豊富な「本」と児童サービスに関する「経験」で「読み聞かせのまち あげお」を支える	① 図書館児童室を居心地の良いフロアにするよう努める。青少年コーナーについては、友人同士など複数で気軽に来館し、滞在を楽しむことができるような仕掛けづくりをする	図書館	展示や掲示物など明るい色合い・ポップなど工夫し、入りやすいフロア環境に努めた。	・展示コーナーや掲示物など、児童が関心を示すような工夫をし、また児童が入りやすいような声掛けなどした。 ・青少年コーナーも、展示や掲示物は、目につきやすく明るい色合いを心がけ、面出し等で手に取りやすい環境づくりを行った。	・展示コーナーや掲示物など児童が関心を示すような工夫をし、また児童が入りやすいような声掛けなどした。 ・青少年コーナーも、展示や掲示物は目につきやすく明るい色合いを心がけ、面出し等で手に取りやすい環境づくりを行った。	・児童が関心を示す様なフロアづくりを目指す。 ・青少年コーナーでは、年4回の特集展示とは別に、青少年世代に身近なテーマの小規模展示を計画する。
			② 児童書・児童サービスに関する県主催の専門研修(年5回開催)などに積極的に参加し常に職員のスキルアップに努める		埼玉県図書館協会が主催する研修(全5回)に出席し、職員のスキルアップに努めた。平成28年度参加職員 2人	引き続き、埼玉県図書館協会が主催の専門研修(全5回)に出席し、職員のスキルアップに努めた。 平成29年度職員2名参加	・埼玉県図書館協会主催の専門研修に出席し、スキルアップに努めた。 【実績】 職員2名、非常勤職員1名が全5回に参加	・研修で学んだものを事業に生かせるように、専門研修に参加する。
			③ 良い本を子どもや保護者と結び付けることができるよう努める		展示や「こどもしつだより」などの情報紙などでさまざまな本の紹介を行った。	引き続き、展示や「こどもしつだより」などテーマを決め、さまざまな本の紹介をした。	・展示やこどもしつだよりなどテーマを決め、さまざまな本の紹介をした。	・本の展示の工夫で、あまり貸出がされなかった本が貸出されることあるため、子供たちが興味を持つ展示をし、良い本を多く紹介する。
			④ 図書館や本に興味を持てるように読書相談や読み聞かせ・読書イベントなどを行う		夏休み期間中の科学遊びや体験図書館員、秋の図書館まつり内での児童向けイベントを通じて本に興味をもってもらうイベントの企画を行った。 参加者 264人	「子ども読書の日」に併せた本のクイズ、夏休み期間中の科学遊びや体験図書館員、秋の図書館まつりでの児童向けのイベントを通じて、子供たちに読書のきっかけになるようなイベントの企画を行った。 参加者 244人	・子ども読書の日に併せた本のクイズ、夏休み期間中の科学遊びや体験図書館員、秋の図書館まつり、クリスマス会等の児童向けのイベントを通じて子ども達に読書のきっかけになるようなイベントを行った。 【実績】 参加者 190人	・子供たちに、図書館や本に興味を持ってもらえるようなイベントを検討する。 【予定】 夏休み期間中の科学遊びや体験図書館員、秋の図書館まつり、クリスマス会等
			⑤ 学校やほかの教育施設と連携を図り、よりよい読書環境をつくる		学校の調べ学習に役立つ本の提供 市内小・中学校延37校利用 993冊	引き続き、学校から依頼を受け調べ学習に役立つ本を提供した。 平成30年3月末市内小・中学校 43校利用 976冊	・学校から依頼を受け調べ学習に役立つ本を提供した。 【実績】 市内小・中学校延べ30校利用 526冊	・学校などの教育施設と連携を図り、読書環境づくりに努める。
	2 資料の充実	子どもが感性を磨き、表現力や想像力を高め、知的欲求を満たすことができる魅力ある蔵書を構築する	① 利用者の需要や児童向け書籍の出版状況を把握して、魅力ある資料をバランスよく収集する	最新の出版された本を中心に読物や調べ学習に役立つ本を収集した。(1,518冊)	最新の出版された本を中心に、絵本、読物や調べ学習に役立つ本を収集した(平成30年3月末 3,263冊)。	・最新の出版された本を中心に絵本、読物や調べ学習に役立つ本を収集した。 【実績】 3,089冊	・新しく出版された本の中から子供たちにとって良い本を収集できるように情報収集や研究に努める。	
			② 子どもの調べものや読書案内に的確に対応できるように資料収集に努める	最新の出版された本を中心に読物や調べ学習に役立つ本を収集した。(1,518冊)	最新の出版された本を中心に絵本、読物や調べ学習に役立つ本を収集した(平成30年3月末 3,263冊)。	・最新の出版された本を中心に絵本、読物や調べ学習に役立つ本を収集した。 【実績】 3,089冊	・最新の調べ学習に役立つ本を購入し、最新の情報を把握できるように本の入れ替えを図る。	
			③ 電子書籍など新たな資料について研究し、児童室での利用において紙媒体での提供より利点が多い分野について導入を検討する	今後検討	今後検討	・(仮)北上尾館の整備に対し電子書籍導入に向け検討したが、整備に至らなかった。	・早期の実現に向け検討を行う。	
			④ 青少年世代が直面する人生のさまざまな課題について思索を深めたり、さまざまな切り口の読書体験を通して読書の多様性を実感できる資料を充実させる	新しく出版された本や、ここ数年の間に出版された本を中心に、幅広い分野の資料を収集した。(628冊)	新しく出版された本や、ここ数年で出版された本を中心に、幅広い分野の資料を収集した(平成30年3月末 716冊)。	・新しく出版された本や、ここ数年で出版された本を中心に、幅広い分野の資料を収集した。 【実績】 613冊	・引き続き、検討する。	
			⑤ 青少年コーナーを公民館図書室にも置き、青少年図書を買・量ともに充実させる	今後検討	今後検討	・効率よく資料を配分するため、利用状況の確認を行った。 ・利用の少ない分館(平方)から青少年コーナーを引き上げ、利用の多い館(大石)の資料を充実させることを検討した。	・たちばな分館のリニューアルに向け、青少年コーナーの資料の配分等について協議する。 ・利用の多い館(大石)の資料の充実を図る。	
3 年代別サービス	1 乳幼児向けサービスの向上を図る	① ・妊婦教室などで赤ちゃんの絵本に関する啓発パンフレットを配布する ・ブックスタート事業を継続する ・「あかちゃんおはなし会」を開催する ・東保健センターを会場に、子どもの読書活動支援センターが「おやこでえほんサロン」を開催する	健康増進課 ・4か月児健康診査会場において、ブックスタート事業を実施。 ・子どもの読書活動支援センターに「おやこでえほんサロン」会場を提供している。	引き続き、4か月児健康診査会場において、ブックスタート事業を実施した。 月2回・年間24回	・4か月児健康診査の会場にて、ブックスタート事業を実施した。 月2回 年間24回	・ブックスタート事業との連携を継続する。		
			図書館 ブックスタート事業として4か月検診の際、絵本2冊と赤ちゃん向けのブックリストを渡している(平成28年12月現在1194人)。 赤ちゃんおはなし会を月1回実施(参加者平均15組) おやこでえほんサロン(参加者 大人188人 子ども202人)	引き続き、ブックスタート事業として4か月検診の際、絵本2冊と赤ちゃん向けのブックリストを渡している(平成30年3月末 1,531人) 赤ちゃんおはなし会を月1回実施(平成30年3月末 265人)	・ブックスタート事業として4か月検診の際、絵本2冊と赤ちゃん向けのブックリストを配布した。 ・あかちゃんおはなし会を月1回実施した。 【実績】 ブックスタート参加者 1,412人 あかちゃんおはなしかい延べ参加者 366人	・実施事業を継続する。		

	取組	目標	施策	主体	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
					実施状況	実施状況	実施状況	今後の課題・方向性	
1 図書館	3 年代別サービス	2 幼児・小学生向けサービスの向上を図る	① 市内各館(室)で未就学児から小学生を対象とした「えほんのじかん」「おはなし会」を開催する	図書館	市内全館で実施している。平成28年12月現在、おはなし会1526人、えほんのじかん 557人	引き続き、市内全館で実施している。平成30年3月末、おはなし会 2,111人、えほんのじかん 1,089人	・市内全館で実施した。 【実績】 おはなし会参加者 1,776人 えほんの時間参加者 934人	・実施事業を継続する。	
			② 子どもたち一人ひとりを本と結びつけるために、図書館職員がフロアワークやブックトークを行う		展示やイベントを通じて本の紹介を行った。展示 年間5回、本にまつわるクイズやクリスマス会などのイベント 年2回	引き続き、展示やイベントを通じて本の紹介を行った。展示 年間5回、本にまつわるクイズやクリスマス会などのイベント 年2回	・展示やイベントを通じて本の紹介を行った。 ・本にまつわるクイズやクリスマス会などのイベントを行った。 【実績】 展示回数 5回 イベント回数 2回	・実施事業を継続する。	
		① 学校に出向いて直接生徒に本の魅力を伝える、ブックトークの充実や多様な参画の形態を工夫した青少年向けの取組を実施する	ブックトークについては未実施。ブックトークに関する研修に職員2人が参加した。		・ブックトークや青少年向けイベントは未実施 ・4月に「Next Generation増刊号」として、人気の高い本のランキングや新しく受け入れた本を掲載し、興味を持ってもらえるように働きかけた。	・ブックトークや青少年向けイベントは未実施。	・中学生以上の生徒などに本の魅力を伝えることやブックトークの実施に向けた検討をする。		
		② 中学生の社会体験事業や、高校生のインターンシップの受入を実施し、図書館に対する意識を高めてもらう	中学生の社会体験事業(4回、計12名)、高校生のインターンシップ(1回、2名)の受入を実施した。		他事業との関係で回数を限定したが、中学生の社会体験事業(1回3名)の受入を行った。	・中学生の社会体験事業の受入を行った。 【実績】 2回 6人	・引き続き、インターンシップ事業を実施し、図書館に対する意識の向上を図る。		
	3 青少年向けサービスの向上を図る	③ 中高生が主体的にかつ双方向のコミュニケーションを図れるような情報紙づくりや読書に関わるイベントを企画運営、参加できる仕組みをつくる	本館青少年コーナーの投稿箱に投稿された本の紹介文を展示、保存を行った。中高生が主体となった情報誌やイベントについては未実施。	・本館青少年コーナーの投稿箱に投稿されたおすすめ本の紹介文を展示した。 ・「Next Generation」の発行に合わせてtwitterで展示テーマの紹介を発信した。	・本館青少年コーナーの投稿箱に投稿されたおすすめ本の紹介文を展示した。	・投稿箱は引き続き実施する。 ・大規模なイベントは難しいが、読書に親しめるような取組を検討する。			
		④ 市内小・中学校と図書館をオンラインで結び、生徒が学校で市立図書館の本の予約・貸し出しなどができるようにするなどを検討する	今後検討	今後検討	・検討中。	・市内小・中学校と図書館は採用しているシステムが統一されていないため、どう結び付けるかが今後の検討課題となる。 ・図書館から小中学校に貸し出す本、あつびいぶつくるセット本を学校のシステムで、各児童生徒に貸し出せるようにすることを関係各課と検討する。			
		4 図書利用に障害のある子どもへのサービス	① 障害児や保護者、教員が必要とする資料や機器を収集・整備し、活用を図る	点字つき絵本など、さわる絵本を7冊購入をした。 ※支援センターの資料として 点字付き6冊含む	点字つき絵本など、さわる絵本の購入をした。点字付き11冊	・障害のある子どもやその保護者、教員が必要とする資料を収集した。 【実績】 購入資料数 9冊	・実施事業を継続する。		
			② 日本語を母語としない子どもたちの状況とニーズを把握、外国語の図書資料などの収集に努める	外国語が母語となる利用者に対応できるよう絵でみてわかる日本の生活習慣に関する本の購入に努めた。6冊購入 ※支援センターの資料として 外国語4冊含む	外国語が母語となる利用者に対応できるよう、絵で見てわかる日本の生活習慣に関する本の購入に努めた。10冊購入	・外国語が母語となる利用者に対応できるよう、絵でみてわかる日本の生活習慣に関する本の購入に努めた。 【実績】 購入資料数 5冊	・実施事業を継続する。		
	2 家族	1 乳児期	1 優しくたくさん語りかけ、一緒に絵本やわらべうたを楽しむ	① ・ブックスタート事業で配布されたブックリストや「えほんのきろく」などを参考に、親子で本に親しむ ・「あかちゃんおはなし会」や「おやこでえほんサロン」に参加する	家庭	ブックスタートをきっかけに、0歳児から絵本を楽しむこと、親子で絵本を楽しむことの大切さなどに気づき、その場で紹介された「あかちゃんおはなし会」や「おやこでえほんサロン」に参加する親子が多い。そこで、集団で絵本を楽しむことの楽しさを親子で体感した。 参加者 144組313人(あかちゃんおはなし会) 188組390人(おやこでえほんサロン)	ブックスタートをきっかけに、0歳児から絵本を楽しむことできることに気づき、「あかちゃんおはなし会」や「おやこでえほんサロン」では親子でわらべうたや絵本を楽しんだ。 参加者 大人131人、子供265人(あかちゃんおはなし会) 大人148人、子供162人(おやこでえほんサロン)	・ブックスタートをきっかけに0歳児から絵本を楽しむことできることに気づき、あかちゃんおはなし会やおやこでえほんサロンでは親子でわらべうたや絵本を楽しんだ。 【実績】 あかちゃんおはなし会参加者 大人184人 子供 182人 おやこでえほんサロン参加者 大人120人 子供122人	・乳児期から絵本の読み聞かせをして、親子のコミュニケーションが有効であることを推奨していく。
		2 幼児期	1 多くの絵本を読み聞かせる 図書館の読み聞かせなどに参加する	① 「えほんのじかん」「おはなし会」などに参加して、集団でおはなしを聞く楽しさを味わう		乳児期から「あかちゃんおはなし会」や「おやこでえほんサロン」などに参加していた子供たちが幼児期になり、自分で絵本を読む楽しさに気づき、主体的に「えほんのじかん」や「おはなし会」に参加している様子が見受けられる。参加時に「えほんのきろく」にスタンプを押してもらえることも楽しみのひとつになっている。 参加者394人(絵本の時間)	・乳児期より「あかちゃんおはなし会」や「おやこでえほんサロン」などに参加していた子供たちが幼児期になり、自分で絵本を読む楽しさや、自分の好きな絵本を選んで読む楽しさを紹介した。 ・「えほんのじかん」や「おはなし会」では、子供が主体的に参加し楽しんだ。 ・参加時に「えほんのきろく」に押すスタンプが周知できた。 参加者 大人409人 子供680人(本館・分館絵本の時間)	・えほんのじかんやおはなし会を開催にあたり、乳児期にあかちゃんおはなし会やおやこでえほんサロンに参加していた子供の参加を促した。 【実績】 「えほんのじかん」開催数 121回 参加者 933人 「おはなし会」開催数 335回 参加者 2,265人	「絵本の黄金期(絵本にかかわる第1期)」におはなし会に数多く参加するよう、家庭に働きかける。
3 少年期		1 「読書パスポート」を活用して親子で本に親しむ	① ・「読書パスポート」を通して、本について親子で話す時間を作る ・図書館や学校で発行する「本の紹介」などを活用してさまざまな本に出会う	自分で本を選び、楽しむことができるひとりで読みの時期に、「読書パスポート」の活用を通じて本に親しんでいる姿が見受けられる。 読書パスポート配布数1,913人(新1年生)		・新1年生に配布される「読書パスポート」を活用して、自分で好きな本を選んで楽しんでいる様子が見受けられた。 ・調べ学習などでの本の活用も増えた。 読書パスポート配布数1,826人(新1年生)	・自分で好きな本を選び、本を読む楽しさを知る。 【実績】 読書パスポート配布数 1,825人	・乳児期～小学校低学年の子どもたちが絵本等に親しむことは、達成されてきている。引き続き、読書パスポートを活用した事業を継続する。 ・今後も小学生高学年の子供たちが、引き続き読書に親しめるよう検討を行い、家庭に働きかけを行う。	

	取組	目標	施策	主体	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
					実施状況	実施状況	実施状況	今後の課題・方向性
2 家族	4 青年期	1 「いつでもどこでも本が手に取れる」環境づくりを進める	① 読書活動を通じた子どもの成長を温かく見守る ・大人も読書に積極的に親しむ姿を見せる	家庭	子どもと大人の中間の世代として、自分の好きな本を自由に楽しむ姿が見受けられる。また、青少年コーナーには大人の利用者も多く、若い世代で流行っていることや親しんでいるものを知るきっかけとなっている。大人も子どもともに楽しめる資料を通じて、読書の楽しみを共有している。	中学生、高校生が図書館を利用する際に、大人も図書館の本を利用していることを確認し、読書の楽しみを共有している。	様々な興味が広がる時期であり、本と関わりが希薄になりがちな中学生・高校生を念頭に、大人も子供も楽しめる棚づくりを検討した。	青少年が抱える学生生活や将来についての課題解決に本を活用し、積極的に幅広い分野の読書を楽しめるような環境づくりを検討する。
				保育所	保育所ごとに、定期的に絵本を見直しを行い、内容の充実を図っている。	保育所毎に、定期的に絵本の見直しを行い、内容の充実を図っている。	・保育所毎に定期的に絵本の見直しを行い、内容の充実を図った。	・保育所の絵本と合わせてあっぴいぶつくる本を活用し、様々な絵本と出あえる機会を作る。
3 地域	1 幼稚園・保育所・子育て支援センター	1 市立幼稚園・市立保育所・子育て支援センターの図書の実態を図る	① 幼稚園・保育所・子育て支援センター内の図書冊数、内容の充実を図る	幼稚園	幼稚園の図書冊数、内容の充実は図れなかった。	子供の実態に合わせて、不足している図書を計画的に購入した。	・物語を中心に新たな絵本を購入し、内容の充実を図った。	・既存のものだけでなく、新しい絵本について情報収集し、魅力的な絵本をさらに取り入れる。
				保育所	保育所ごとに、図書館での貸し出し本、リサイクル本を活用し、絵本の充実を図っている。	平成29年度は、あっぴいぶつくる本を活用し、様々な絵本に触れる機会となった。	・あっぴいぶつくる本の活用の定着に共同で取り組み、様々な絵本に触れる機会を作った。	・図書館の団体貸出・あっぴいぶつくる本、図書のリサイクルなども活用し、図書の充実を図る。
				幼稚園	「あっぴいぶつくるセット本」や、平方小学校の図書室を活用して図書の充実を図った。	・年間合計5回、あっぴいぶつくる本を活用した。 ・図書のリサイクルも活用し、図書の充実を図った。	・あっぴいぶつくる本や図書リサイクル本、幼稚園の絵本を自由に貸し出しと閲覧ができる教室を設定した。	・利用しやすいように絵本の並べ方を工夫し、また、図書の冊数、内容の充実を目指す。
				子育て支援センター	・月2回絵本・紙芝居・パネルシアター等を楽しむ講座「みんなのおはなし」を開催 ・火曜日を除く開館日の夕方に絵本等の読み聞かせを実施	・月2回、絵本・紙芝居・パネルシアター等を楽しむ講座「みんなのおはなし」を開催 ・火曜日を除く開館日の夕方に、絵本等の読み聞かせを実施	・月2回絵本・紙芝居・パネルシアター等を楽しむ講座「みんなのおはなし」を開催した。 ・火曜日を除く開館日の夕方に絵本等の読み聞かせを実施した。	・実施事業を継続する。
		① 日々の保育の中でさらに、絵本の読み聞かせを組み込む	保育所	落ち着いた環境の中で、絵本に親しんでもらえるよう、場所や時間など工夫して、取り組んでいる。	落ち着いた環境の中で、絵本に親しんでもらえるよう、場所や時間など工夫して、取り組んでいる。	・落ち着いた環境の中で、絵本に親しんでもらえるよう、場所や時間など工夫して、取り組んだ。	・絵本に親しんでもらえるよう、取り組みを工夫する。	
			幼稚園	日々の保育の中で担任から絵本の読み聞かせを行った。	毎日、絵本の読み聞かせをした。	・毎日、降園時に紙芝居や絵本の時間をもった。また、自ら絵本を読んだり、見たりできるコーナーを各教室に設定した。	・子どもが自然に絵本を手取るように興味、関心、発達などに応じた絵本を選択したり、絵本の設定場所を工夫する。	
		2 子どもが絵本に親しむ環境をつくる	② 図書館職員やボランティアによる人形劇やおはなし会を取り入れる	子育て支援センター	・年3回、子どもの読書活動支援センターに依頼し、「みんなのおはなし」に参加協力によるコラボレーションを実施	年2回、子どもの読書活動支援センターに依頼し、「みんなのおはなし」に参加協力によるコラボレーションを実施	・年2回、子どもの読書活動支援センターに依頼し、みんなのおはなしに参加協力によるコラボレーションを実施した。	・実施事業を継続する。
				図書館(子どもの読書活動支援センター)	子育て支援センター・あっぴいぶつくるコラボ事業「みんなのおはなし with 子どもの読書活動支援センター」の開催 年間2回 参加者 大人31人 子供33人	子育て支援センター・あっぴいぶつくるコラボ事業「みんなのおはなし with 子どもの読書活動支援センター」の開催 年間2回 参加者 大人33人 子供33人	・子育て支援センター・あっぴいぶつくるコラボ事業「みんなのおはなし with 子どもの読書活動支援センター」を開催した。 【実績】 開催 年間 2回 参加者 大人34人 子供37人	・要望に応じた人形劇やおはなし会を開催する。
				保育所	保育所ごとにボランティアによる、素話や読み聞かせの会を企画し、子供たちにとって良い経験となった。	保育所ごとに、ボランティアによる素話や読み聞かせの会を企画し、子供たちにとって良い経験となった。	・保育所ごとにボランティアによる、素話や読み聞かせの会を企画した。	・実施事業を継続する。
				幼稚園	ボランティアによる人形劇や、平方小学校の図書委員会による読み聞かせ交流を行った。	夕涼み会で、やぎさん一座を招き、紙芝居を上演した。	・保護者や小学生、小学校の司書教諭による絵本の読み聞かせを行った。 ・劇団員による人形劇や職員による劇を実施した。	・エプロンシアターやパネルシアターなど様々な視聴覚教材を通して、絵本やお話に親しめるようにする。

	取組	目標	施策	主体	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
					実施状況	実施状況	実施状況	今後の課題・方向性	
3 地域	1 幼稚園・保育所・子育て支援センター	3 保護者に対する絵本の啓発を行う	① 保護者へ絵本の貸し出しや、年齢に合わせた絵本の紹介を行う。懇談会などに乳幼児期の読み聞かせの重要性についての内容を組み込み、啓発を行う	子育て支援センター	・希望する利用者に絵本の貸し出しを随時実施 ・適宜、絵本の読み聞かせの重要性を啓発	・希望する利用者に絵本の貸し出しを随時実施 ・適宜、絵本の読み聞かせの重要性を啓発	・希望する利用者に絵本の貸し出しを随時実施した。 ・適宜、絵本の読み聞かせの重要性を啓発した。	・実施事業を継続する。	
				図書館（子どもの読書活動支援センター）	「えほんのきろく」にスタンプを押す機会を作り、図書館にこない保護者へも読書相談を受けることで、読み聞かせの重要性を伝えた。	図書館へ来ない保護者へも、読書相談を受けることで、身近に本のある環境をつくり、読み聞かせの重要性を伝えた。	・保育所にある「えほんあついでいぶつくる本」を通じて、本をあまり読む習慣のない保護者が、本に興味を持ち、親子で本を楽しむ機会を作れるよう図った。	・読み聞かせをしたり、子供と一緒に本を読んだり、図書館に行くことの楽しさ・重要性を伝える。	
				保育所	保育室内に絵本の紹介コーナーを作り、お勤めの絵本を飾るなど、保育所ごとに保護者に関心を持ってもらえるように工夫してあり、絵本の貸出件数が増えた保育所もある。	・保育室内に絵本の紹介コーナーを作り、お勤めの絵本を飾るなど、保育所ごとに保護者に関心を持ってもらえるように工夫を行った。 ・あついでいぶつくる本の貸し出しも好評で、親子で関心が高い様子があった。	・保育室内に絵本の紹介コーナーを作り、お勤めの絵本を飾るなど、保育所ごとに保護者に関心を持ってもらえるように工夫した。 ・あついでいぶつくる本の貸し出し環境を整え、子どもたちの楽しみにつなげた。	・あついでいぶつくる本等も活用しながら、親子で楽しめるように、貸出図書の内容の充実を図る。	
				幼稚園	幼稚園の絵本の貸し出しを行ったり、保護者懇談会で読み聞かせを実演して重要性を啓発した。	・懇談会で、保護者に対し、絵本の読み聞かせの重要性を説明した。 ・あついでいぶつくる本を保護者に貸し出し、家庭での読み聞かせを推奨した。	絵本貸し出しができる教室を保護者に開放した。また、新しく入った本を紹介する手紙を配布し、絵本の読み聞かせの啓発を行った。	・絵本の貸し出しを利用する家庭に偏りがあり、利用者を増やせるよう絵本の充実を図り、様々な方法で周知する。	
	2 児童館・放課後児童クラブ	1 乳幼児～小学生を対象とした魅力あるおはなし会を行う	①	・青少年育成推進員や読み聞かせの団体などと協力し、読み聞かせやおはなし会などの事業を推進していく ・おはなし会に来た子には、「えほんのきろく」や「読書パスポート」にスタンプを押す	児童館	青少年育成推進員によるおはなし会を実施(アップーランド:1回 24人、こどもの城:10回 380人) おひさま文庫によるおはなし会を実施(アップーランド:10回)【H29.1.31現在】	・アップーランドとこどもの城では、青少年育成推進員によるおはなし会を実施している。 ・アップーランドではおひさま文庫によるおはなし会こどもの城では読み語りの城を実施している。	・アップーランドとこどもの城では、青少年育成推進員によるおはなし会を実施した。 ・アップーランドではおひさま文庫によるおはなし会こどもの城では読み語りの城を実施した。	・実施事業を継続する。
					放課後児童クラブ	日頃の保育の中で読書を実施 読み聞かせは夏休み等にいくつかのクラブで実施	・日頃の保育の中で読書を実施 ・いくつかのクラブにて読み聞かせを実施	・日ごろの保育の中で読書を実施した。 ・いくつかのクラブで読み聞かせを実施した。	・保育の中に読書時間や読み聞かせを取り入れ、子どもたちが図書に触れる機会を増やす。
	2 児童館・放課後児童クラブ	2 子どもが読書に親しみ環境をつくる	②	② 図書館の団体貸出・図書のリサイクルなども活用し、さらなる図書の充実を図る	放課後児童クラブ	図書リサイクルへの参加 各学童保育所での団体貸出を利用	・図書リサイクルへ参加した。 ・いくつかのクラブにて団体貸出を利用した。	・図書リサイクルへ参加した。 ・いくつかのクラブで団体貸出を利用した。	・図書サイクルに参加し、団体貸し出しも積極的に利用する。 ・寄贈図書を活用し、図書を充実させ、より子どもたちが図書に興味を持つように働きかける。
					自治会	【しらこぼと団地自治会】 年間の開館日数 176日 寄贈の受け入れ、年4回季節のイベント(3月桃の節句、5月端午子の節句、7月七夕、12月クリスマス)に合わせた飾りを実施	【しらこぼと団地自治会】 月・水・木・土曜日 15時30分~17時30分 年4回季節のイベント (桃の節句、端午子の節句、7月七夕、12月クリスマス)の飾り付けを実施	・子どもの読書活動推進事業費補助金の交付した。 ・小泉地区(小泉サロン)にて、年齢ごとに読み聞かせ本の紹介、読み聞かせ(2冊 0・1・2・3歳対象)を実施した。	・地域でのおはなし会、読書会の依頼があった場合、ボランティアの紹介や子どもの読書活動支援センターが行うことを検討する。
	3 児童文庫・自治会・読み聞かせボランティア	1 図書館と連携し、さらなる図書の充実を図る	①	① 子どもの読書活動推進事業費補助金の交付を受けたり、図書館の団体貸出・図書のリサイクルなども活用し、さらなる図書の充実、活動の充実を図る	自治会	【おひさま文庫】 年間開館日数 145日 図書リサイクルで15冊の本を活用 上平小、保育所、子育て支援センターなどで、人形劇及びおはなし会を実施 図書館まつりでおはなし会、人形劇を実施 【富士見団地自治会児童図書】 年間開館日数 24日 回覧物で定期的に啓蒙活動をしている(年11回)	【おひさま文庫】 開館日時 月曜日・木曜日 15時~18時 土曜日(月1回) 11時~12時 ・文庫でのおはなし会(育児サークルなど) ・文庫開館(図書貸出、返却、遊び相手など) ・出前おはなし会、読み聞かせ、人形劇 他 上平小、上平北小、原市小、アップーランド等多数 【富士見団地自治会児童図書】 開館日時 第一、第三土曜日 13時~15時 定期的に読書の啓蒙活動実施	・子どもの読書活動推進事業費補助金の交付した。 ・小泉地区(小泉サロン)にて、年齢ごとに読み聞かせ本の紹介、読み聞かせ(2冊 0・1・2・3歳対象)を実施した。	・図書の充実等を図る。

	取組	目標	施策	主体	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
					実施状況	実施状況	実施状況	今後の課題・方向性
3 地域	3 児童文庫・自治会・読み聞かせボランティア	2 子どもたちとよい本を結びつける橋渡しとなる	① 子どもたちとよい本を紹介する ・おはなし会に来た子には、「えほんのきろく」や「読書パスポート」にスタンプを押す	読み聞かせボランティア	・子供たちとよい本を紹介した。 ・おはなし会に来た子には、「えほんのきろく」「読書パスポート」にスタンプを押し、事業に協力した。	引き続き、 ・子供たちとよい本を紹介した。 ・おはなし会に来た子供に「えほんのきろく」「読書パスポート」にスタンプを押し、事業に協力した。	・子供たちとよい本を紹介した。 ・おはなし会に来た子供に「えほんのきろく」「読書パスポート」にスタンプを押した。	・引き続き事業に協力できるよう資質向上に努める。
			② 図書館主催のステップアップ講座などに参加するなどして日々研さんを重ね、資質向上につとめる		・子どもの読書活動支援センターの講座等に各自参加した。 参加者93人 ・グループで月1回の定例会で研さんに努めた。	・子どもの読書活動支援センターの講座等に各自参加した。 参加者178人 ・グループで月1回の定例会で研さんに努めた。	・子どもの読書活動支援センターの講座等に各自参加した。 参加者69人 ・グループで月1回の定例会で研さんに努めた。	・引き続き事業に協力できるよう資質向上に努める。
4 学校	1 学校の役割	1 学校図書館教育全体計画・年間指導計画の作成・充実を図る	① 学校図書館教育全体計画・年間指導計画の作成・内容の充実を図り、授業などでの学校図書館の活用を位置づける	学校	年度当初の教育課程作成時に、学校図書館教育全体計画・年間指導計画を各校で作成し、各教科の指導計画との関連を検討した。	引き続き、各小・中学校の教育課程において、学校図書館教育全体計画・年間指導計画を各校で作成し、各教科の指導計画との関連を検討した。	・各小・中学校の教育課程において、学校図書館教育全体計画・年間指導計画を各校で作成し、各教科の指導計画との関連を検討した。	・各教科等の単元と関連付け、計画的な活用を促すとともに、学校図書館教育の推進を図る。
		2 新聞を活用した授業実践の充実を図る	① 司書教諭など研修会を通じて学校図書館に毎日配架されている新聞を活用した授業実践を取り上げ、情報交換を行い、各校での実践に生かせるようにする		司書教諭等研修会を通じて、学習指導要領における新聞活用について周知するとともに、各校の新聞活用実践例を共有した。	引き続き、平成29年度9月から、埼玉中央よみうり、新聞や閲覧台を活用している上尾市内の各小学校の取組の様子を紹介する記事を掲載した。	・埼玉中央よみうりで、新聞や閲覧台を活用している上尾市内の各小学校の取組の様子を紹介する記事が掲載された。	・研修会等を通じて、実践事例を共有し、効果的な取組が各校で実践できるようにする。
	2 学校図書館の整備	1 「学校図書館図書標準」の早期達成をめざす	① 司書教諭、アップスマイル学校図書館支援員が中心となり、計画的に図書資料の整備、更新、充実を図る ・学校図書室のスペース拡張の検討、書架の購入	学校	計画的に図書の購入等を行うことができた。 各校の工夫により、第二図書室の整備、書架の並び替えや配架の変更を行うことができた。	引き続き、 ・計画的に図書の購入等を行うことができた。 ・各校の工夫により、第二図書室の整備、書架の並び替えや配架の変更を行うことができた。	・計画的に図書の購入等を行った。 ・各校の工夫により、書架の並び替えや配架の変更を行った。	・計画的に蔵書の整備、更新を行い資料の充実を図る。 ・各学校の実情に合わせ空き教室の転用等を含め図書室の拡張ができるかどうか検討する。
		2 司書教諭等研修会の充実を図る	① 学校図書館の充実のために、これまで同様に研修会を実施するとともに、研修会の内容については、更なる読書活動推進のために検討する		教育総務課	・不用図書の整備、新規購入を計画的に行った。 ・図書スペースの拡張は未実施。 ・瓦葺小学校で書架1台を購入した。	平成30年度予算で書架購入予算を獲得	・小学校4校、中学校8校に書架を購入した。
				指導課		年間3回の研修会を行った。 新聞活用の取組や、教科領域指導に即した図書館の活用について周知するとともに、情報交換の場を設けることができた。	・司書教諭等と学校図書館支援員合同の研修会を、年間2回行い、情報交換の場を設けることができた。 ・5月には、学校図書館教育の推進のため、中学校対象に、校長と司書教諭合同の研修会を実施した。	・司書教諭等と学校図書館支援員合同の研修会を、年間2回行った。 ・教科等の指導に即した図書館の活用について周知するとともに、情報交換の場を設けた。
					① 学校図書館の充実のために、これまで同様に研修会を実施する ・研修会の内容については、子どもの読書活動支援センターと連携し、更なる読書活動推進を図る	指導課	計画に基づき雇用時に3回、前期5回、後期4回の研修を行うことができた。各校の取組について共有し、広めることができた。	計画に基づき雇用時に3回、前期5回、後期4回の研修を実施した。 ・各校の取組について共有し、広めることができた。
① 学校図書館の充実のために、これまで同様に研修会を実施する ・研修会の内容については、子どもの読書活動支援センターと連携し、更なる読書活動推進を図る	図書館（子どもの読書活動支援センター）	・司書教諭・学校図書館支援員研修「子どもたちを本好きにしよう」と出合うきっかけはブックトークを開催 参加者 21人 ・学校図書館支援員研修「学校図書館のつくり方」子どもたちの使いやすい図書館」講座を開催 参加者 45人 ・学校図書館支援員研修会に参加し、助言・連絡をする。6回	・司書教諭・学校図書館支援員研修「子どもたちを本好きにしよう」と出合うきっかけはブックトークを開催 参加者 41人 ・「本の修理の基本を学ぼう」講座を開催 参加者 18人 ・学校図書館支援員研修会に参加し、助言・連絡をする 8回	・学校図書館支援員研修会に参加し、助言・指導・連絡を行った。 8回 (内容例) 学校図書館と学校司書の仕事について 図書分類と配架について 授業に関連したミニ展示、ポップの作成 図書館活動アンケートを実施し「買って良かった！本」の展示会を実施			・学校図書館が充実のために、学校支援員が実践できるような情報を発信行う。	

	取組	目標	施策	主体	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
					実施状況	実施状況	実施状況	今後の課題・方向性
4 学校	2 学校図書館の整備	4 各小中学校の学校図書館の一層の充実を図り、読書活動を推進するため、支援員の増員に向けて検討を進める	① アップスマイル学校図書館支援員の増員の要望を行う	指導課	支援員増員の要望を行ったが、増員はされなかった。	支援員増員の要望を行ったが、増員はされなかった。	・支援員増員の要望を行った(結果、増員なし)。	・継続して増員を要望する。
		5 学校図書館の掲示・各コーナーの整備・充実を図る	① 司書教諭やアップスマイル学校図書館支援員が中心となり、学校図書館の掲示や新聞の活用、新刊や季節の本の展示コーナーなどの環境の整備・充実を図る	学校	各校において、定期的に掲示や本の展示が行われ、児童生徒の興味を喚起することができた。教科書で紹介されている本に関するコーナーなども特設され、利用しやすい環境を図った。	・各校において、定期的に掲示や本の展示が行われ、児童生徒の興味を喚起することができた。 ・季節や行事に合わせたコーナー、教科書で紹介されている本に関するコーナーなども特設され、利用しやすい環境を図った。	・各校において、定期的に掲示や本の展示が行われ、児童生徒の興味を喚起した。 ・季節や行事に合わせたコーナー、教科書で紹介されている本に関するコーナーなどを特設するなど利用しやすい環境を整備した。	・研修会等を通じて継続して、実践事例を共有し、効果的な取組が各校で実践できるようにする。
		6 さらに学校図書館の情報化を図る	① 市立図書館の蔵書検索が学校図書館管理システムで可能となるか検討する	教育総務課	学校図書館管理システムの検討については未実施。	引き続き、検討中	・システム統合や蔵書検索の連携を検討した。	・上尾市Webサイト上の上尾市図書館蔵書検索の利用を図り、問題点を検討する。
		7 長期休業中の学校図書館の開放・活用を図る	① 夏季休業日においては、全校で、開館日数を20日以上としており、取組内容を充実させることにより、さらに利用率を高める 冬季休業中においても学校の実情に合わせて、利用率を高める	学校	平成28年度から開館日数を16日以上とした。各校ごとに目標冊数を決めて、事前の貸出も含めて、児童生徒の利用を図った。	・平成29年度から、開館日数を15日以上とした。 ・各校ごとに目標冊数を決めて、事前の貸出も含めて、児童生徒の利用を図った。	・夏季休業日の開館日数を15日以上とし、各校ごとに目標冊数を決めて、事前の貸出も含めて、児童生徒の利用を図った。	・長期休業前に貸出をすることで、利用率の向上と家庭での読書活動の推進を図る。
	3 読書活動の取組	1 朝の読書をはじめとする一斉読書や読み聞かせを充実する	① 引き続き、全校一斉読書活動を実施する 中学校にも小学校での読み聞かせやブックトークなどを紹介し、取組を推進する	学校	・朝読書などの一斉読書は、各小中学校で実施されている。 ・中学校でも読み聞かせを行っている学校がある。	・朝読書などの一斉読書は、各小中学校で実施されている。 ・中学校でも読み聞かせを行っている学校がある。	・朝読書などの一斉読書を、各小中学校で実施した。 ・一部中学校でも読み聞かせを行った。	・研修会等を通じて各校の取組を共有し、効果的な取組が実施できるようにする。
		2 「子ども読書の日」に関する取組の充実・周知を図る	① 引き続き、司書教諭やアップスマイル学校図書館支援員を中心に、研修会などでそれぞれの学校の取組を紹介しながら、取組を充実するとともに、保護者へ「子ども読書の日」を周知する	学校	「子ども読書の日」のイベントを各学校で行うことができた。	引き続き、平成29年度も継続して行うことができた。	・継続して実施した。	・期間中の利用促進を図るとともに、保護者への周知も継続して行う。
		3 「学校応援団」・ボランティアの活用を図る	① 司書教諭等研修会を通じて、情報交換を行い、各校の実践に生かす	学校	学校応援団・ボランティアの活用については資料を通じて各校に紹介することができた。	読み聞かせや長期休業中の貸出ボランティアなどの協力を得ることができた。	・読み聞かせや長期休業中の貸出ボランティアなどを活用した。	・地域の実態に合わせ、学校応援団やボランティアの活用を促す。
	4 あっぴいぶっくるセット本・団体貸出本の利用	1 図書館と市内小・中学校、市立幼稚園が協力して、市図書館所蔵の読み物セットをすべての小中学校・市立幼稚園に長期間一括貸出する「あっぴいぶっくるセット本」事業を行う	① 事業の円滑な運用を目指す	学校図書館	「あっぴいぶっくるセット本」の活用については継続して行うことができた。	「あっぴいぶっくるセット本」の活用については、継続して行うことができた。	・あっぴいぶっくるセット本の活用を継続して行った。	・継続して事業の円滑な運用を促す。
				図書館(子どもの読書活動支援センター)	年度途中から「あっぴいぶっくるセット本」の発着を図書館本館から子どもの読書活動支援センターに変更し、支援センターで管理するようになった。学校の休校などの対応や本の管理など円滑にできた。 平成28年度あっぴいぶっくるセット本の活用 幼稚園 8回 120冊 小学校 112回 10,440冊 中学校 33回 990冊 合計 153回 11,550冊	・「えほんあっぴいぶっくる」「あっぴいぶっくるセット本」の管理を子どもの読書活動支援センターで行うこととなった。学校の休校などの対応や本の管理など円滑にできた。 平成29年度えほんあっぴいぶっくるセット本の活用 幼稚園・保育所 80回 2,400冊 小学校 92回 8,280冊 中学校 44回 1,320冊 合計 136回 9,600冊	・えほんあっぴいぶっくる、あっぴいぶっくるセット本の発着を子どもの読書活動支援センターで管理し、学校の休校などの対応や本の管理など円滑にできた。 【実績】 えほんあっぴいぶっくるセット本の活用 幼稚園・保育所 80回 2,400冊 あっぴいぶっくるセット本の活用 小学校 84回 7,560冊 中学校 44回 1,320冊 合計 128回 8,880冊	・事業を継続するために、破損した本については新しい本に買い替えを行う。
		② 市立保育所で同事業を行うことを検討する	学校	平成29年度から、保育所・幼稚園の中で絵本を巡回貸出する「えほんあっぴいぶっくる」事業を開始した。この絵本のリストを公開する準備を進めている。	・今年度から、保育所・幼稚園の中で、絵本を巡回貸出する「えほんあっぴいぶっくる」事業を開始した。 平成29年度えほんあっぴいぶっくるセット本の活用 幼稚園・保育所 80回 2,400冊	・えほんあっぴいぶっくるセット本を活用した。 【実績】 幼稚園・保育所 80回 2,400冊	・子どもの読書活動支援センターが推奨する本のリスト作成を行い、家庭・学校・地域に向けて提供する。	

	取組	目標	施策	主体	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
					実施状況	実施状況	実施状況	今後の課題・方向性
5 家庭・地域・学校をつなぐ取組	1 まちかど図書館	出張おはなし会や出張読書イベントの際に、関連する本を持っていきその場で貸し出しを行う	① 図書館に来たことがなかったり来られなかったりする子どもや保護者にもより身近な場所で図書館の機能を利用してもらう	図書館（子どもの読書活動支援センター）	まちかど図書館実施に向けて、図書館システム担当・児童担当・青少年担当等と検討中	引き続き、まちかど図書館実施に向けて、図書館システム担当・児童担当・青少年担当等と検討中	未実施	引き続き、検討する。
			① 活用方法について、保護者へ周知する	「読書パスポート」「えほんのきろく」を家庭で活用し、親子で本についての会話を広げる	学校	「読書パスポート」については取組が周知され、活用が定着している。	引き続き、「読書パスポート」については取組が周知され、活用が定着している。	図書館と連携し、セカンドブック事業として新1年生に読み聞かせを実施し「読書パスポート」の利用方法などの説明を子供を通じて行った。
	図書館活動支援センター	学校や児童館、読み聞かせボランティアを通して保護者への周知を図った。			引き続き、学校や児童館、読み聞かせボランティアを通して保護者への周知を図った。	・読書パスポートの活用方法について、配布した子供たちを通じて保護者へ伝えるよう周知した。 ・未就学児にえほんのきろくを使用してもらい、親子で本を読む習慣の周知を行った。	・学校や児童館、読み聞かせボランティアを通して周知できるようにする。	
	学校	「読書パスポート」については取組が周知され、活用が定着している。週末読書等を設定している学校もある。			「読書パスポート」については取組が周知され、活用が定着し週末読書、家読等を推進している学校がある。	・「読書パスポート」を積極的に活用した。	・子どもの読書活動支援センターと連携し、今後も継続して活用を促す。	
	図書館活動支援センター	「読書パスポート」「えほんのきろく」を通して、親子で本について、会話する時間をつくってもらおう工夫する			「読書パスポート」については取組が周知され、活用が定着している。週末読書等を設定している学校もある。	・「読書パスポート」については取組が周知され、活用が定着し家庭においても休日にパスポートを使用するようになってきている ・おはなし会でパスポートを持参した時、児童に家で本について、話をしていることを確認した。	・「読書パスポート」の活用が定着し、親子で図書館にパスポートを持参し本を借りている。 ・おやこでえほんサロンなどの事業で活用についての説明を行った。	・図書館、学校がさらに「読書パスポート」「えほんのきろく」をPRし、子供たちに読書習慣がつくようにする。
	① 活用方法について、地域へ周知する	「読書パスポート」「えほんのきろく」を地域で活用し、上尾の読書推進につとめ「読み聞かせのまちあげお」をつくる		児童館	毎月発行する行事予定表に記載している。	毎月発行する行事予定表に、記載している。	・毎月発行する行事予定表に記載した。	・毎月発行する行事予定表に記載する。
				青少年課	未実施	未実施	未実施	・読書パスポート等の良さを周知できるような方法を検討する。
				図書館活動支援センター	読み聞かせボランティアの活動や児童館等を通して、地域への周知を図った。	引き続き、読み聞かせボランティアの活動や、児童館等を通して、地域への周知を図った。	・おやこでえほんサロン、おはなし会などの事業で、保護者に対し、読み聞かせボランティアなどから、読書パスポートの活用についての説明を行った	・子供たちに読書習慣がつくために、図書館、学校がさらに読書パスポート、えほんのきろくをPRする。
				読み聞かせボランティア	おはなし会、えほんのじかんの時に、「えほんのきろく」や「読書パスポート」にスタンプを押した。	引き続き、おはなし会、えほんのじかんの時に「えほんのきろく」や「読書パスポート」にスタンプを押し、また、おはなしを聞きにきてくれるような取組を図った。	・おはなし会、えほんのじかんの時にえほんのきろくや読書パスポートにスタンプを押し、また、おはなし会などの行ききたいと思えるように事業への参加意欲を高めた。	・読み聞かせを続け、多くの子どもたちや保護者に本の楽しさ、大切さを伝える。
	② 「読書パスポート」の中の「宝島スタンプラリー」にスタンプが押せる機会をたくさん用意する		児童文庫	【おひさま文庫】お話し会には未就学児が多いため、「読書パスポート」「えほんのきろく」の利用は少ない。 【富士見団地自治会児童図書】「読書パスポート」「えほんのきろく」の利用はほとんどない。	【おひさま文庫】お話し会には未就学児が多いため、「読書パスポート」「えほんのきろく」の利用は少ない。 【富士見団地自治会児童図書】「読書パスポート」「えほんのきろく」の利用はほとんどない。	【おひさま文庫】 ・読書パスポート、えほんのきろく共に利用し、えほんのきろくを持っていない子供には配布した。 【富士見団地自治会児童図書】 読書パスポート、えほんのきろく共に利用している子供はいない。	・引き続き、図書館や子どもの読書活動支援センターと連携し、「読書パスポート」等の周知を図る。	
児童館			アッピーランド・藤城清治絵本読み聞かせを実施 こどもの城・読み語りの城を実施、読み聞かせ3人会を実施した。	・アッピーランドとこどもの城では青少年育成推進員によるおはなし会を実施した。 ・アッピーランドではおひさま文庫によるおはなし会を実施した。	・アッピーランドとこどもの城では青少年育成推進員によるおはなし会を実施した。 ・アッピーランドではおひさま文庫によるおはなし会を実施した。	・引き続き、事業の実施を継続する。		

	取組	目標	施策	主体	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
					実施状況	実施状況	実施状況	今後の課題・方向性
5 家庭・地域・学校をつなぐ取組	2 「読書パスポート」・「えほんのきろく」	2 「読書パスポート」「えほんのきろく」を地域で活用し、上尾の読書推進につとめ「読み聞かせのまちあげお」をつくる	② 「読書パスポート」の中の「宝島スタンプラリー」にスタンプが押せる機会をたくさん用意する	青少年課	未実施	未実施	未実施	・上尾市青少年育成推進員協議会が行っている児童館や市内小学校等での読み聞かせの際、読書パスポート等を持参している児童にスタンプを押してもらうよう呼びかける。 ・読み聞かせの日程を周知することで児童のスタンプを押す機会を増やす。
				図書館（子どもの読書活動支援センター）	学校や公民館や自然学習館等たくさんの場所で、読み聞かせや講座を開き「宝島スタンプラリー」を活用できるようにした。	引き続き、学校や公民館や自然学習館等たくさんの場所で、読み聞かせや講座を開き「宝島スタンプラリー」を活用できるようにした。	・学校や公民館等でたくさんの場所で、読み聞かせや講座を開き「宝島スタンプラリー」を活用できるようにした。	・学校や子どもの読書活動支援センターなどで行う事業や「読書パスポート」の活用方法などの効率的な周知方法を検討し実施していく。
				読み聞かせボランティア	図書館や地域でのおはなし会の際に、スタンプを押している。	引き続き、図書館や地域でのおはなし会の際に、スタンプを押した。	・図書館や地域でのおはなし会の際にスタンプを押した。	・引き続き事業に協力する。
				児童文庫	・おはなし会の際にスタンプを押した。	・おはなし会の際にスタンプを押した。	・おはなし会の際にスタンプを押した。	・引き続き事業に協力する。
				児童館	定期的に事業を開催した。	引き続き、定期的に事業を開催した。	・定期的に事業を開催した。	・定期的に事業を開催する。
				青少年課	青少年課が事務局を務める「上尾市青少年育成推進員協議会」の活動の一つである、小学校や児童館で、大型紙芝居も使用した読みきかせを開催した。 学校 年間15日、児童館 年間12回、自然学習館 1回	青少年課が事務局を務める「上尾市青少年育成推進員協議会」の活動の一つとして、小学校や児童館で、大型紙芝居も使用した読みきかせを開催した。	・青少年課が事務局を務める「上尾市青少年育成推進員協議会」の活動の一つとして小学校や児童館で、大型紙芝居も使用した読みきかせを開催してした。	・青少年育成団体、放課後児童クラブ等と連携し、「読書パスポート」の活用について検討する。
				図書館（子どもの読書活動支援センター）	・児童館、児童文庫には、読書パスポートに押すスタンプを配布し読み聞かせを行った。 ・児童館、児童文庫にえほんのきろくの配布を依頼した。	引き続き、 ・児童館、児童文庫には、「読書パスポート」に押すスタンプを配布し読み聞かせを行った。 ・児童館、児童文庫に「えほんのきろく」の配布を依頼した。	・児童館、児童文庫には、読書パスポートに押すスタンプを配布し読み聞かせを行った。 ・児童館、児童文庫にえほんのきろくの配布を依頼した。	・放課後クラブなどにも活動を広げられるよう計画を進める。
				児童文庫	おはなし会の際に、スタンプを押した。	引き続き、おはなし会の際にスタンプを押した。	・おはなし会の際にスタンプを押した。	・引き続き事業に協力する。

	取組	目標	施策	主体	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
					実施状況	実施状況	実施状況	今後の課題・方向性
5 家庭・地域・学校をつなぐ取組	2 「読書パスポート」「えほんのきろく」を地域で活用し、上尾の読書推進につとめ「読み聞かせのまちあげお」をつくる	④ 「読書パスポート」「えほんのきろく」を地域で活用し、上尾の読書推進につとめ「読み聞かせのまちあげお」をつくる	読み聞かせボランティアの協力で地域で出張おはなし会を開催する	児童館	未実施	未実施	未実施	・図書館等と連携し、読書パスポートの活用について検討を行う。
				青少年課	青少年課が事務局を務める「上尾市青少年育成推進員協議会」の活動の一つである、小学校や児童館で、大型紙芝居も使用した読みきかせを開催した。 学校 年間15日、児童館 年間12回、自然学習館 1回	青少年課が事務局を務める「上尾市青少年育成推進員協議会」の活動の一つである、小学校や児童館で、大型紙芝居も使用した読みきかせを開催した。	・青少年課が事務局を務める「上尾市青少年育成推進員協議会」の活動の一つとして、小学校や児童館で大型紙芝居も使用した読みきかせを開催してした。	・「上尾市青少年育成推進員協議会」の活動の一つである、小学校や児童館での読みきかせを今後も維持継続できるように支援する。
				図書館（子どもの読書活動支援センター）	現在、図書館・子どもの読書活動支援センターで行っている事業のほとんどが読み聞かせボランティアの協力で行われている。	引き続き、図書館・子どもの読書活動支援センターで行っている事業のほとんどが、読み聞かせボランティアの協力で、行われている。	・図書館・子どもの読書活動支援センターで行っている事業は、主に読み聞かせボランティアの協力でいった。	・読み聞かせボランティアの協力のもと、魅力ある事業を展開する。
				読み聞かせボランティア	子どもの読書活動支援センターと協力して、自然学習館コロボ事業や、「おやこでえほんサロン」でおはなし会を行っている。	子どもの読書活動支援センターと協力して、自然学習館コロボ事業や「おやこでえほんサロン」(東保健センター)で、おはなし会を行っている。	・子どもの読書活動支援センターと協力してまなつのこわいおはなし会やおやこでえほんサロンでおはなし会を行った。	・図書館、子どもの読書活動支援センター等の事業に引き続き協力する。
				児童文庫	【おひさま文庫】 小学校への読み聞かせ(上平小、原市小)を実施	【おひさま文庫】 引き続き、小学校への読み聞かせ(上平小、上平北小、原市小)を実施	【おひさま文庫】 ・出前おはなし会（上平小、上平北小、原市小）	・引き続き事業に協力する。
	3 「読書パスポート」を学校で活用し、学校での読書活動を活性化させる ・「読書パスポート」をとおして学校と図書館の連携を強化する	① 図書館、学校、アップスマイル学校図書館支援員、読み聞かせボランティアが連携して、「読書パスポート」配布おはなし会を市内全小学校で開催し、PRにつとめる	学校	・計画通り実施することができた ・平成28年度は、学校図書館支援員研修で、本事業に関連した研修を行うこともできた	引き続き ・計画通り実施することができた。 ・平成29年度は、学校図書館支援員研修で、本事業に関連した研修を行うこともできた。	・読書パスポートは取組が周知され、一部学校では活用が定着し、週末読書や家読等を推進した。	・研修会等を通じてよい取組を共有する。	
			学校図書館	・「読書パスポート」配布及びおはなし会の実施については計画通り実施できた ・「読書パスポート」は、読書活動の推進に、効果的に活用された	引き続き、 ・「読書パスポート」配布及びおはなし会の実施については計画通り実施できた。 ・「読書パスポート」は、読書活動の推進に、効果的に活用された。	・読書パスポート配布とおはなし会の実施については、計画通り実施した。 ・読書パスポートは、読書活動の推進に、効果的に活用された。	・継続して事業の円滑な運用を進める。	
			図書館（子どもの読書活動支援センター）	連携がスムーズにでき、「読書パスポート」配布おはなし会が開催できた。また、「読書パスポート」の使い方が十分に理解され、学校での活用が進んでいる。1,913人に配布	引き続き、 ・連携がスムーズにでき、「読書パスポート」配布及びおはなし会が開催できた。 ・「読書パスポート」の使い方が十分に理解され、学校での活用が進んでいる。1,943人に配布	・連携がスムーズにでき、読書パスポート配布おはなし会が開催できた。 ・読書パスポートの使い方が十分に理解され、学校での活用が進んだ。(1,825人に配布)	・学校との連携強化や子供たちにも図書館を身近に感じられるよう、図書館員が小学校を訪問し、読書パスポートの説明、配布する。	
			読み聞かせボランティア	「読書パスポート」配布時に、おはなし会を市内全小学校の1年生に行うとともに、図書館のおはなし会を紹介し参加を呼び掛けた。	市内全小学校1年生に、「読書パスポート」配布時に図書館のおはなし会を紹介した。	・読書パスポート配布時に、おはなし会を市内全小学校1年生に行った。 ・図書館のおはなし会を紹介し参加を呼びかけた。	・図書館と協力して読書パスポート配布おはなし会を実施し、PRにつとめる。	
			学校	計画に基づいて実施することができた。読み聞かせボランティアの活用についても各校ごとに地域の人材等も活用して行うことができた。	引き続き、計画に基づいて実施することができた。読み聞かせボランティアの活用についても各校ごとに地域の人材等も活用して行うことができた。	・計画に基づいて実施した。 ・読み聞かせボランティアの活用について、各校ごとに地域の人材等も活用した。	・継続して事業の円滑な運用を進める。	
	② 子どもの読書活動支援センターや読み聞かせボランティアによる学校への出張おはなし会の開催	学校図書館	計画通り実施できた。	引き続き、計画通り実施できた。	・計画通り実施した。	・継続して事業の円滑な運用を進める。		

取組	目標	施策	主体	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
				実施状況	実施状況	実施状況	今後の課題・方向性
5 家庭・地域・学校をつなぐ取組	2 「読書パスポート」「えほんのきろく」	② 子どもの読書活動支援センターや読み聞かせボランティアによる学校への出張おはなし会の開催	図書館（子どもの読書活動支援センター）	・「上尾おはなしの会」によるおはなし会 7校 133クラス 4,058人 ・AYYレンジャー「サイエンスの杜ワンダーワンダー」による科学絵本の読み聞かせ・科学遊び 5校 22クラス 508人 ・AYYレンジャーによる朗読 1校 4クラス 139人 ・学校図書館支援員と支援センター職員によるブックトーク 1校 4クラス 139人	・「上尾おはなしの会」によるおはなし会 7校 147クラス 4,104人 ・AYYレンジャー「サイエンスの杜ワンダーワンダー」による科学絵本の読み聞かせ・科学遊び 7校 24クラス 465人 ・学校図書館支援員と支援センター職員によるブックトーク 1校 3クラス 117人	・「上尾おはなしの会」によるおはなし会 6校 139クラス 3,899人 ・AYYレンジャー「サイエンスの杜ワンダーワンダー」による科学絵本の読み聞かせ・科学遊び 5校 469人	・学校の要望に答えられるよう、読み聞かせボランティアの育成に努める。
			読み聞かせボランティア	・「上尾おはなしの会」のおはなし会 7校 133クラス ・AYYレンジャー「サイエンスの杜ワンダーワンダー」の科学絵本の読み聞かせ・科学遊び 5校 22クラス	・「上尾おはなしの会」のおはなし会 7校 147クラス ・AYYレンジャー「サイエンスの杜ワンダーワンダー」の科学絵本の読み聞かせ 7校 24クラス	・「上尾おはなしの会」によるおはなし会 6校 139クラス 3,899人 ・AYYレンジャー「サイエンスの杜ワンダーワンダー」による科学絵本の読み聞かせ・科学遊び 5校 469人	・学校でのおはなし会を行い、読書パスポート活用に協力する。
			学校	計画に基づいて実施することができた。	引き続き、計画に基づいて実施することができた。	・計画に基づいて実施した。	・実施事業を継続する。
		③ 「読書パスポートコンクール」へ参加する	学校図書館	「読書パスポートコンクール」については各学校に周知され、長期休業中などを活用して参加が見られた。全小学校から推薦された優秀な作品を表彰した。	引き続き、「読書パスポートコンクール」については各学校に周知され、長期休業中などを活用して参加が見られた。全小学校から推薦された優秀な作品を表彰した。	・読書パスポートコンクールを各学校に周知し、取組が行われた。	・継続して事業の円滑な運用を促す。
		① 図書館・児童館・児童文庫などの読書イベントで未就学児に「えほんのきろく」を配布し、「ぶち宝島スタンプラリー」にスタンプを押す	児童館	アップーランド・藤城清治絵本読み聞かせを実施 こどもの城おはなしの城を実施	・アップーランドとこどもの城では、青少年育成推進員によるおはなし会を実施している。 ・アップーランドでは、おひさま文庫によるおはなし会、こどもの城では、読み語りの城を実施している。	・アップーランドとこどもの城では青少年育成推進員によるおはなし会を実施した。 ・アップーランドでは、おひさま文庫によるおはなし会、こどもの城では読み語りの城を実施した。	・実施事業を継続する。
			図書館（子どもの読書活動支援センター）	読み聞かせや読書イベント等で、「えほんのきろく」を配布し活用を促した。また、「えほんであそぼ!」を紹介し、保護者への啓発活動をした。 「えほんのきろく」配布数 12月現在800冊	読み聞かせや読書イベント等で、「えほんのきろく」を配布し活用を促し、また「えほんであそぼ!」を紹介し、保護者への啓発活動をした。 「えほんの記録」配布数 400冊	・読み聞かせや読書イベント等で、えほんのきろくを配布し活用を促した。 ・えほんであそぼ! を紹介し、保護者への啓発活動をした。 【実績】 えほんの記録配布数 1,000冊	・えほんのきろく、読書パスポートが、多くの場所で活用できるように、読書イベントの場所を増やす。
	ポランアンティイ		スタンプを押印している。	スタンプを押印している。	・読書イベントに協力し、スタンプを押印した。	・引き続き、事業に協力する。	
	4 「えほんのきろく」を活用し、幼い時期から読書に親しむ習慣をつける	児童文庫	おはなし会の際に、スタンプを押印している。	スタンプを押印している。	・読書イベントに協力し、スタンプを押印した。	・引き続き、事業に協力する。	
		児童館	未実施	未実施	未実施	・絵本の紹介をする。	
		図書館（子どもの読書活動支援センター）	図書館のおはなし会や地域のおはなし会で「えほんであそぼ!」の絵本を紹介する	・保健センターで行っている「おやこでえほんサロン」で、図書館発行のパンフレットや冊子を希望者に配布している。	引き続き、保健センターで行っている「おやこでえほんサロン」で、冊子を配布し良い絵本と出せる機会を作った。	・引き続き、おやこでえほんサロンで、冊子を配布し、よい絵本と出せる機会を作った。	・良い絵本の展示し、PRIに努める。

第3章 情報提供の充実

	取組	目標	施策	主体	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
					実施状況	実施状況	実施状況	今後の課題・方向性	
1	各種パンフレット	「赤ちゃんといっしょに絵本をたのしもうーブックススタートあげおー」 「このえほんたのしいよ!!」 「よんでごらん」 「おはなし会・えほんのじかん市内一覧」 「こどもしつだより」 「Next Generation」	子どもと本を結び付けるため図書館が薦める図書の情報を発信する	① ブックリストの内容を見直したり新たな資料を加えたり内容を更新する	図書館	「こどもしつだより」など過年度と重ならないようにテーマを決めるように努めた。 「よんでごらん」は毎年内容を更新し、発行した。 「よんでごらん」は毎年内容を更新し、発行した。	「こどもしつだより」など過年度と重ならないようにテーマを決めるように努めた。 「よんでごらん」は毎年内容を更新し、発行した。 ・年4回「Next Generation」を発行し新鮮な切り口のテーマで、幅広い分野から資料を集めるよう心掛けた。	「こどもしつだより」など過年度と重ならないようにテーマを決めるように努めた。 「よんでごらん」は毎年内容を更新し、発行した。 ・年4回Next Generationを発行した。新鮮な切り口のテーマで、幅広い分野から資料を集めるよう心掛けた。	・事業を継続し、良い本を紹介する。
2	市広報紙	「図書館へようこそ」のページの実現	「図書館へようこそ」のページの中でさまざまな情報を発信することで、図書館を中心に展開される活動への認知度を上げる	① 「図書館へようこそ」の中で紹介する子ども対象のイベントの告知を魅力的なものにする 「子ども読書活動支援センター あっぴいぶっくる」のコーナーでは、特に子供対象のイベントやボランティア活動情報を掲載し、子どもを取り巻くさまざまな読書活動の状況を市民が把握しやすくする	図書館（子どもの読書活動支援センター）	「子ども読書活動支援センター あっぴいぶっくる」のコーナーが市民に周知され、主催講座の申し込みが増えた。 講座参加者アンケートのうち、講座を知ったきっかけを「広報あげお」と答えた人の割合47.0%	「子ども読書活動支援センター あっぴいぶっくる」のコーナーが市民に周知され、主催する講座の情報発信を行った。	「子ども読書活動支援センター あっぴいぶっくる」のコーナーが市民に周知され、主催する講座の情報発信を行った。	・魅力ある広報紙づくりに努める。
3	図書館ホームページ	子どもの視点に立った図書館ホームページの充実	子どもが自ら閲覧、活用できるような仕組みを図書館ホームページ機能に追加することを検討する	① ・図書館ホームページの活性化のために、子ども自身が活用できる内容を充実させることにより、検索機能、調べ学習に対する対応など多様化する子どもの図書館の利用の仕方に対応する ・本市の郷土資料について自ら情報に触れるコンテンツを充実させることで郷土愛を育むきっかけとする	図書館（子どもの読書活動支援センター）	図書館ホームページ内にある「子どものページ」の内容を追加し、youtubeに乗せた子どもの読書活動推進テーマ曲へのリンクページを作成した。	引き続き、ホームページ内の「こどものページ」の活用を図った。	引き続き、ホームページ内の「こどものページ」の活用を図った。	・「こどものページ」に本市の郷土資料や新しいコンテンツを追加するほか、使いやすい仕様を検討する。
4	「読み聞かせのまちあげお 上尾市図書館」フェイスブックの運用	「読み聞かせのまちあげお 上尾市図書館」フェイスブックの運用	より市民に身近な、地域からの情報を収集し、タイムリーに発信する	① 「(仮称)子ども読書活動推進連絡会」「(仮称)図書館・学校・学校図書館連絡会」「(仮称)図書館・学校・学校図書館連絡会」などを通して情報収集に努める	図書館（子どもの読書活動支援センター）	ボランティア連絡会で、地域の情報の収集を行い、フェイスブックに掲載した。	ボランティア連絡会で、地域の情報の収集を行い、フェイスブックに掲載した。	・ボランティア連絡会以外の連絡会は未設置	・各連絡会の設置について進め、情報発信に向けた検討を行う。
5	「子どもの読書活動支援センター」ツイッター	「子どもの読書活動支援センター」ツイッターの運用	読書活動推進に有用な、魅力ある情報を提供する	① 支援センターの講座などを通し、魅力ある情報を親しみやすい文法で提供する	図書館（子どもの読書活動支援センター）	ツイッターにより、講座や本の情報など多くの情報を発信している。 フォロワー数 1,248人	ツイッターにより、講座や本の情報など多くの情報を発信している。 フォロワー数 1,900人	・ツイッターは、講座や本の情報をすぐに提供できる手段であり、多くの情報を発信した。 【実績】 フォロワー数 1,431人	・講座などの情報に加え、読書に関したより身近な情報を発信する。